

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 7月 27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2870700800		
法人名	(有)日本健康管理システム		
事業所名	グループホームたんぽぽ		
所在地	〒654-0081 神戸市須磨区高倉台6-14-20 (電話)078-731-1116		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成21年6月26日	評価確定日	2009年7月27日

## 【情報提供票より】(H21年5月9日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年11 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤 4人, 非常勤 6人, 常勤換算 6.3 人	

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2 階建て	1 ~ 2 階部分	

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

## (4) 利用者の概要(5月9日現在)

利用者人数	18 名	男性 2 名	女性 16 名
要介護 1	4	要介護 2	10
要介護 3	3	要介護 4	1
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 80.7 歳	最低 58 歳	最高 91 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	野村海浜病院
---------	--------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・地下鉄妙法寺駅からバスで10分ぐらいの住宅地にあり、同法人の有料老人ホームが隣接している。元女子寮を改造したホームであるため家賃が安く、利用しやすい料金設定である。職員は、「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」をモットーに利用者の生活の場として、楽しく居心地の良い空間作りに日々携わっている。評価結果を活用された地域とのふれあい、年間研修計画に沿った研修の実施等の取り組みをさらに充実させることにより事業所サービスの質の向上がいつそう進むことを期待したい。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) ・前年度評価を受け、鍵をかけない取り組み。今後近所の見守り協力も依頼したい。外出の機会を増やす。外の空気を吸い、近隣住民とのふれあいを増やす。年間研修計画を立て、研修を充実していく取り組みをしている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) ・自己評価は全職員で行った。評価を通してより近所と気楽に交流したいという思いや、ホームと利用者いろいろな人が関わり支えてくれていることに気付いた。評価結果は来訪者にも閲覧してもらえよう玄関に置いている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) ・地域包括、利用者、利用者家族、自治会長、民生委員等が出席して定期的に開催している。事業所の現状報告、地域包括や自治会から情報提供や質問があり、利用者、家族も意見・要望を出す機会となっている。出てきた要望等を取り入れ、質の向上を図るよう努めている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) ・ホーム便りを毎月出し、利用者の暮らしがわかるようにしている。金銭管理は面会時に報告しサインをもらっている。運営推進会議に家族が出席し意見、要望を外部に表わせる機会となっている。家族同士の意見交換の場があればなお良いと思われる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) ・自治会に加入し、行事の誘いや情報を得ている。菜園の手伝いやボランティアの訪問もある。利用者は地域の喫茶店に職員と一緒に出かけたり、地域の掃除の日に参加する人もいる。事業所ではボランティアの協力も得て今後より積極的に地域に出かけ、気楽に交流したいと考えている。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・法人で地域密着型の理念を作っている。又事業所ではユニット毎に地域を意識して年間の目標を立て、地域で暮らすサービスを目指している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・毎日のミーティングやフロア毎の会議で問題点を検討する時に理念の共有を図っている。外出を増やす、利用者の出来ることを重視する、ボランティアの活用等日々心掛けている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会に加入し、地域行事に参加している。菜園の手伝いやボランティアの訪問もある。事業所ではボランティアの協力を増やして今後より積極的に地域に出かけたいと考えている。		
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価はミーティングで話し合い、管理者、職員全員で行った。評価を通して、利用者の外部とのふれあいの大切さや利用者によくの人が関わっていることに改めて気づき、交流を深める意識が高まった。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・地域包括、利用者、利用者家族、自治会長、民生委員等が出席して定期的を開催している。事業所の現状報告、地域包括や自治会から情報提供や質問があり、利用者、家族も意見・要望を出す機会となっている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・事故報告、外部評価、新型インフルエンザの対応について等市に報告、相談をしている。生活保護受給者の利用における手続きや支払いについても連携を図っている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・ホーム便りを毎月出している。管理者が一言添えるようにしている。金銭管理は面会時に報告しサインをもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・意見、要望は、面会時に個別対応している。運営推進会議に家族が一名(固定)出席している。家族会はない。</p>		<p>・運営推進会議に家族が出席し意見交換できているが、家族同士の意見交換の場がないので、家族同士で話し合える場を設けてはいかがか。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・管理者が異動したときは時々会う機会を作っている。職員の異動は、家族訪問時伝えられているが、利用者特に混乱はない。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・年間研修計画を立て、計画的な研修を行っている。また介護技術チェックリストを導入して、職員の不得意な点をリーダーや管理者が実際の場面で指導している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・地域のグループホーム連絡会に管理者やリーダーが参加している。職員は法人内の他のグループホームの職員と交流の機会を持ち共に学んでいる。		
<b>オーム</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・利用希望者に見学してもらって、場の雰囲気に馴染んでもらうようにしている。入居後は慣れるまで、同一の職員が対応し、家族にも頻回に訪問してもらって不安や心細さに配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	利用者と共に過ごし支えあう関係  職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	・裁縫や昔からの言い伝え等を教えてもらったり、お好み焼きやギョーザの得意な人に調理してもらったり、毎日のメニューをホワイトボードに書いてもらったり、利用者が出番が持てるよう工夫している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・希望・意向の把握の困難な人は、表情や行動から推測している。一部の人は家族の意向が中心になっている。</p>		<p>・家族の意向と共に本人の気持ちにも十分な配慮の検討を望みたい。</p>
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・フロアミーティングやミニカンファレンスで利用者の現状を話し合い、ニーズを出し、計画作成者が介護計画を立てている。家族、往診医からも意見をもらっている。計画の中に季節感と本人能力への配慮を取り入れている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・モニタリングの結果や職員の気付き、介護記録等を参考にして定期見直しをしている。特変事は随時見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・夜間救急対応及び看取り等の医療連携体制が確保されている。隣接施設との協力体制も充実しつつあり、年間行事を通しての利用者同士の交流も予定している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・月2回の往診医による受診が定着しており、かかりつけ医への情報提供も必要に応じてなされ、協力連携はできている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・往診医の指導の下、訪問看護の協力を得ながら看取りをおこなった。今後も、重度化については看護師を中心とした勉強会を継続して行っていく。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・家族の了解を得て親しみやすい声かけをする場合もあるが、目上の方に対する言葉かけを原則としている。個人情報の取り扱いは、職員に周知するよう努めている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・職員は利用者と向き合い、希望や思いを聞く時間をできるだけ作るよう努めている。そばで一緒に見守り、利用者が常にさびしい気持ちにならないよう寄り添っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・利用者の得意料理を一緒に作ったり、個々の利用者のレベルでの調理の下準備や配膳等、何らかの関わりを持ってもらうよう声かけしている。利用者と職員がわきあいあいとおしゃべりしながら、食事を楽しんでいる。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・入浴時間や曜日など、利用者個々の希望に十分沿えているとはいいがたい。家族の協力を得ることもあり、入浴を楽しんでもらえるよう心がけている。</p>		<p>・利用者の状態変化を踏まえつつ、利用者の希望を少しでも反映できる職員間の協力体制を期待したい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・得意の川柳を投稿する人もいる。来訪者の接待や洗濯干し、字を書くことを得意としている人など、個々の持っている役割や好きなことに自然に関われるよう環境を整えている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・個別の散歩や買物などは利用者の心身状況により、対応が難しくなってきた。ホームの庭の花の水やりや周りの散策など外気に触れる機会をできるだけ確保するよう努力している。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・自治会や運営推進会議では、玄関の施錠は必要であるとの意見であったが、管理者は、施錠は検討することを考えている。</p>		<p>・ホームの姿勢について、全職員で十分検討されるとともに、地域住民等とも時間をかけた話し合いが必要と思われる。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・毎年9月には、防災グッズの点検。年2回、隣接施設及び地域住民の協力の下、防災訓練を実施している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・一人ひとりに合わせた食事の摂取量及び調理方法で提供している。水分量は利用者個々の状態に応じて往診医と相談しながら、好みの飲料を少しずつ摂取してもらうよう声かけに努めている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・居間からは、ベランダ越しに外が見渡せ、テーブルには近隣で採取した草花が飾られ、季節感を大事にしている。空き部屋の活用、共用などスペースにゆとりがあり、個々に過ごせる工夫もなされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・ホーム入居前の生活環境を出来るだけ再現するために、家族には身の回りの日用品の持ち込みをお願いし、必要に応じて職員が工夫することもある。家族もともにくつろげるよう日用品が用意されている居室もある。</p>		

 は、重点項目。